

紙とデジタルで学びがアップデート!

さまざまなシーンに最適なQRコンテンツ

導入・展開・まとめの学習段階に応じて最適なコンテンツを用意しました。
生徒の **個別最適な学び** や **協働的な学び** を支えます。

学びのシーンに合った
便利な QR コンテンツが
用意されているのじゃな



導入

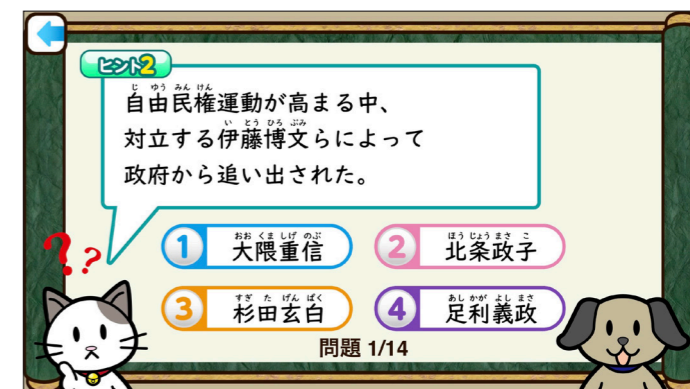


導入ページでは、小学校のレディネスを確認しながら、時代全体を見通すことができる「導入クリップ」や「だれだろう?歴史人物」、活動内容に沿った「ワークシート」などを用意しました。

▶ p.144~145

導入クリップ (動画)

小学校で学習した内容を想起するとともに、これから学習する内容を確認し、時代全体を俯瞰できます。



クイズ だれだろう?歴史人物

小学校で学習した人物をクイズ形式で確認できます。レディネスを整えることに役立てられます。

展開

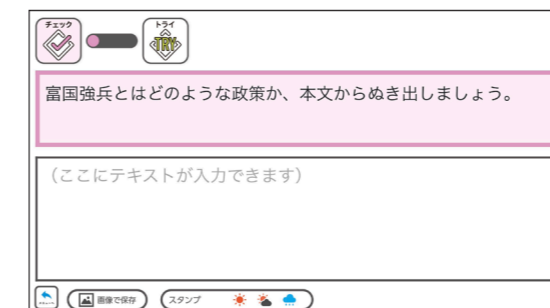


本文ページでは、教科書に掲載の資料を端末上で拡大して見ることができる「D-ZOOM」、NHK for Schoolを中心とした「D-MOVE」などを用意しました。

▶ p.170~171

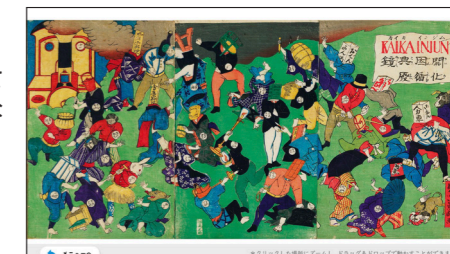
チェック&トライ

1時間の授業のまとめとして、学習のふり返りとして活用できます。入力した解答は画像で保存できます。



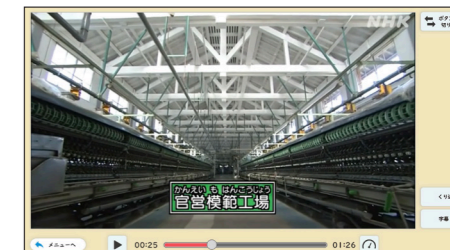
D-ZOOM

教科書に掲載の資料を拡大してじっくりと読み取り、活用につなげることができます。

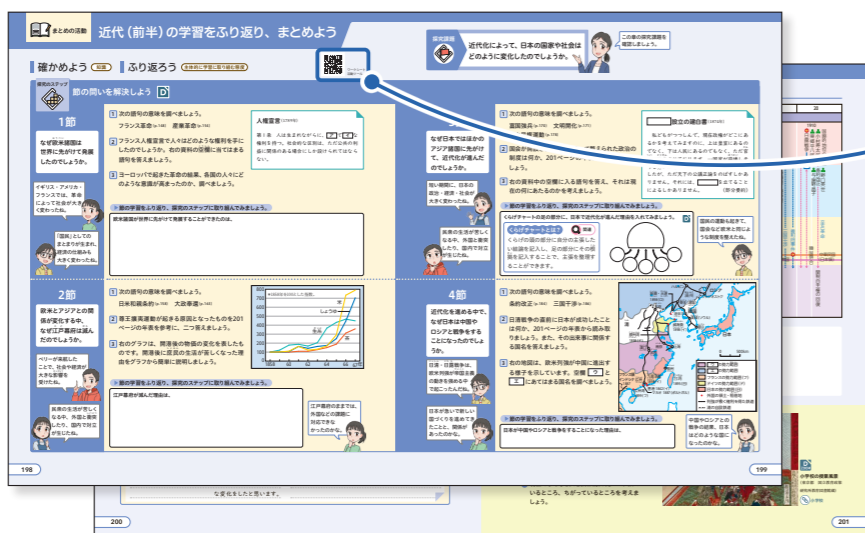


D-MOVE (動画)

NHK for schoolを中心とした動画コンテンツです。近現代の学習では、当時の映像資料として活用できます。

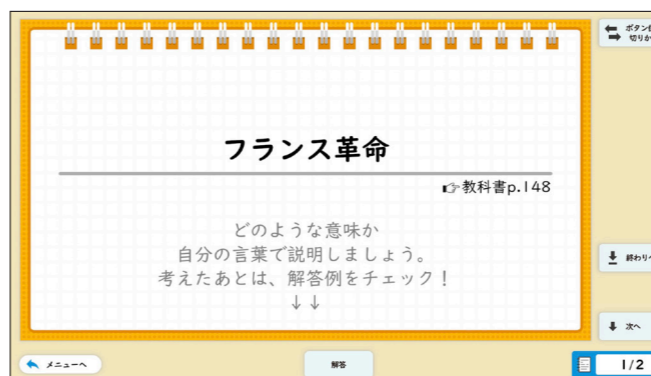


まとめ



まとめページでは、活動内容に沿った「ワークシート」、用語を確認できる「語句の意味を調べよう!」、思考の整理に役立つ「思考ツール」などを用意しました。

▶ p.198~201

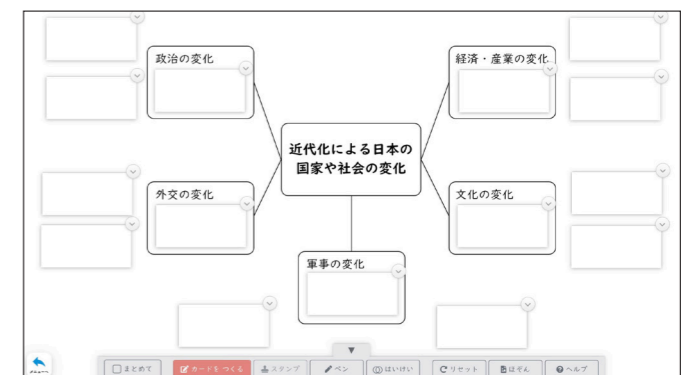


ワークシート 探究のステップに取り組もう 語句の意味を調べよう!

探究のステップを解決する過程で、確認が必要となる語句の意味をチェックすることができます。

活動ツール 思考ツール

探究のステップや探究課題の解決の過程で、思考ツールを使って考えを整理することができます。



多彩なQRコンテンツで学びをサポート

紙面上はこのマークが目印!



右のコードから
実際のコンテンツを
見てみましょう!



導入クリップ (動画)



導入の活動で、小学校で学習した内容を想起することに役立てられます。これから学習する内容を確認し、時代全体を俯瞰できます。

D-MOVE (動画)



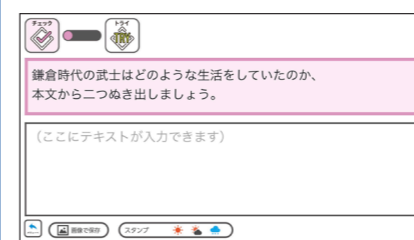
「NHK for school」を中心に、授業中に使える動画を用意しました。自社サーバーからの配信なので継続してアクセスでき、安心して活用できます。
*教科書の使用期間を想定しています。

D-ZOOM



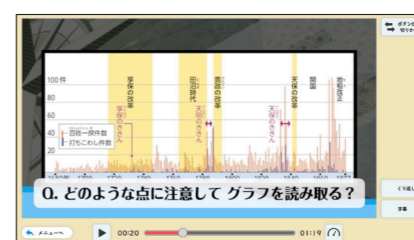
教科書に掲載の資料を拡大して見ることができます。資料をじっくりと読み取り、活用につなげることができます。

チェック&トライ



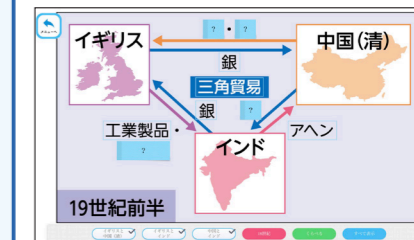
毎時間の「チェック&トライ」の問いに解答を入力できるコンテンツです。解答は画像で保存できます。

なるほど! スキル・アップ (動画)



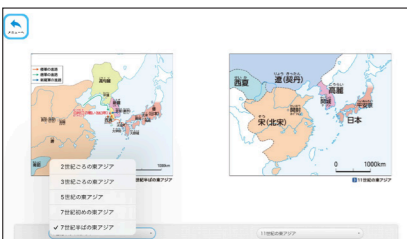
教科書紙面に掲載のコーナー「スキル・アップ」を動画で解説するコンテンツです。

活動ツール シミュレーション



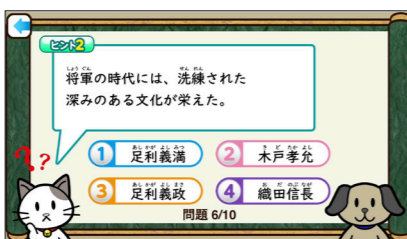
歴史に関わる事象の仕組みをシミュレーションでくり返し確認できるコンテンツです。

比べてみよう! 地図



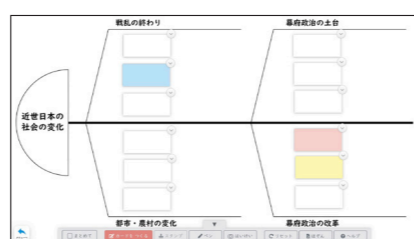
第2章 (古代までの日本) では、東アジアの地図が掲載される場面で、前の時期の地図と比較ができるコンテンツを用意しました。

クイズ だれだろう? 歴史人物



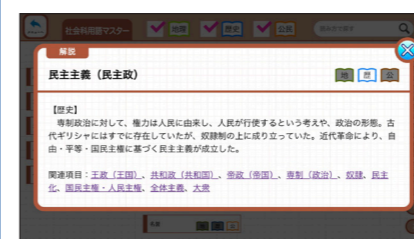
導入の活動で、小学校で学習した人物をクイズ形式で確認できます。レディネスを整え、学習にスムーズに入っていくことができます。

活動ツール 思考ツール



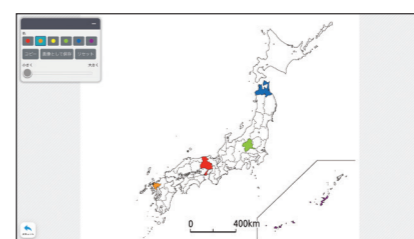
まとめの活動で、探究課題や探究のステップを解決する際、考えをまとめたり深めたりすることができます。

社会科用語 マスター



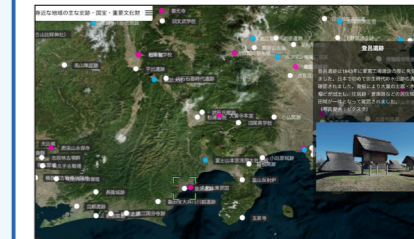
地理・公民の用語も含めたデジタル版の用語解説です。関連用語もワンクリックで確認でき、教科書の編集委員監修なので、安心して活用できます。

白地図をぬってみよう (世界・日本)



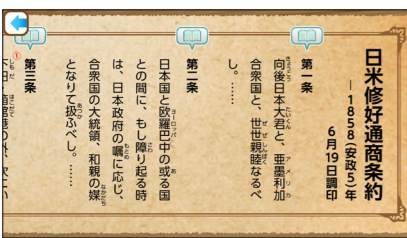
ワンクリックで簡単に色を塗ったり消したりできる白地図です。世界地図と日本地図があります。

活動ツール 社会科デジタルマップ



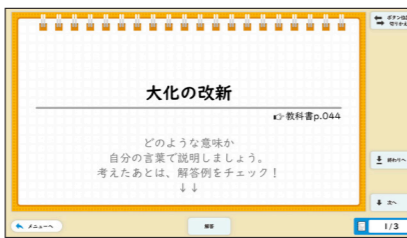
身近な地域の国宝・重文・史跡、前方後円墳、宿場町など、1つのテーマごとに位置情報をプロットし、簡単な解説を添えたデジタル地図です。

文献資料



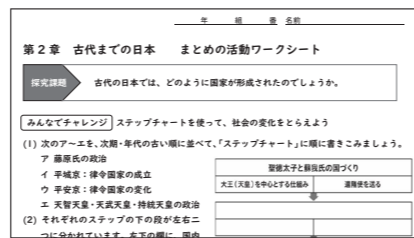
教科書に掲載の条約や法律などに、より詳しい解説や他の条文を追加したコンテンツです。

探究のステップに取り組もう 語句の意味を調べよう!



まとめの活動で、探究のステップを解決する際、確認が必要となる語句の意味を端末上でチェックすることができます。

ワークシート



導入の活動、まとめの活動の内容に沿ったワークシートです。主体的に学習に取り組むことができます。

D-MOVEのラインナップ

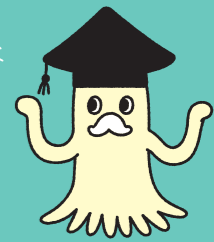
- 世界三大宗教
- 吉野ヶ里遺跡
- 大仙古墳
- 平城京
- 木簡
- 正倉院宝物
- 平安京
- 中国の歴史とモンゴル
- 元軍との戦い後の幕府
- 琉球王国
- 蝦夷地との交易
- 応仁の乱
- ルネサンス
- マチュピチュ遺跡
- キリスト教宣教師と信長
- 検地と刀狩
- 島原・天草一揆
- 出島
- 解体新書
- 黒船
- 富岡製糸場
- 北海道開拓
- 自由民権運動の弾圧
- 八幡製鉄所
- 足尾銅山鉱毒事件
- 日本と国際連盟
- 治安維持法
- 関東大震災
- 第二次世界大戦
- 太平洋戦争
- 学徒出陣
- 防空壕
- 玉音放送
- 極東国際軍事裁判 (東京裁判)
- 日本国憲法制定史
- ベルリンの壁
- サンフランシスコ平和条約
- 安保闘争
- キング牧師の演説
- 日韓基本条約
- 日中平和友好条約
- 高度経済成長
- 石油危機 (オイル・ショック)
- 9・11事件
- 旧ユーゴスラビア
- 阪神・淡路大震災

教科書からアクセスできるQRコンテンツ

内容	コンテンツ数
動画 (NHK for school、導入クリップ、なるほど! スキル・アップを含む)	75
チェック & トライ	96
D-ZOOM	47
思考ツール	15
ワークシート	31
他分野・他教科紙面リンク	39
社会科用語マスター	1
その他	78
合計	382

一人一人の資質・能力を育てる工夫

まさに個別最適じゃないか!



歴史の学びをより広く、より深く

「歴史的な見方・考え方」

▼ p.10~15 「第1章1節 歴史をとらえる見方・考え方」

歴史とは、多くの出来事、出来事から成り立っています。歴史を学ぶことは、過去の出来事を知ることです。歴史を学ぶことで、過去の出来事から学び、未来を築いていくことができます。

歴史を学ぶには、過去の出来事を知ることが大切です。歴史を学ぶことで、過去の出来事から学び、未来を築いていくことができます。

歴史を学ぶには、過去の出来事を知ることが大切です。歴史を学ぶことで、過去の出来事から学び、未来を築いていくことができます。

歴史的な見方・考え方をとらえる

「第1章1節 歴史をとらえる見方・考え方」 歴史的な見方・考え方の解説

歴史的な見方・考え方1 時期や年代

歴史の学習では、ある出来事が「いつ起こったか」という「時期や年代」をとらえることが大切です。「時期や年代」の表し方には、さまざまな方法があります。出来事や人物が出てきたら、それが出てきた時代(何年ごろ)に、どこで(だれによって)起こったのかを確認するようにしましょう。

歴史的な見方・考え方2 推移

歴史の学習では、出来事の「時期や年代」(p.10)に着目だけでなく、複数の出来事を時間の流れに沿って整理し、どのように「推移」していったかをとらえることが必要です。「出来事」がどのように展開していったのか「政治や社会、文化、国際関係」がどのように変化・継続したのかといったことに着目して学習しましょう。

歴史的な見方・考え方3 比較

物事の特徴をとらえるには、別の物事と「比較」することが必要です。例えば、右の「A」(1)のようにより、前後の時代を比べて、共通する点や異なる点を考えることで、その時代の特徴をとらえることができます。

歴史的な見方・考え方4 相互の関連

歴史上の出来事は、ひとりで起こるわけではなく、背景や原因になった出来事や、影響を受けた出来事があります。右の「A」(3)のように、出来事の「相互の関連」を考えることで、歴史をより深くとらえることができます。

歴史的な見方・考え方5 現在とのつながり

過去の出来事の中には、現在にまで影響したり、私たちの生活と関係したりするものもあります。右の「A」(4)について考えることで、現在の社会への理解が深まります。

習得した「歴史的な見方・考え方」を資料の読み取りや思考の整理で働かせる!

歴史的な見方・考え方を働かせる

▼ p.271 第7章「探究のステップ」

関連

ツールミン図式とは?

ある事実から、自分の主張を考えると、その主張の根拠や条件を整理することができます。

▼ p.189 第5章「日露戦争」

比較

日清戦争と日露戦争による国民の負担とそのちがいについて、8~10から読み取りましょう。

p.62 第2章「まとめの活動」

みんなでチャレンジ

時期・推移・関連

- 次のA~Eを、時期・年代の古い順に並べて、「ステップチャート」に順に書きこみましょう。
ア 藤原氏の政治
イ 平城京：律令国家の成立
ウ 平安京：律令国家の変化
エ 天智天皇・天武天皇・持統天皇の政治
- それぞれのステップの下の段が左右二つに分かれています。左下の欄に、国内の様子を書きましょう。
- それぞれのステップの右下の欄に、日本の政治の推移に影響を与えた東アジアとの関係を書きましょう。
- 「ステップチャート」を基に、古代の日本では、どのように国家が形成されたのか、まとめましょう。

リニューアル

対話的、活動的に学びを深める

「みんなでチャレンジ」

計36か所

みんなでチャレンジ

古墳の分布から考えよう

- 3から、前方後円墳がどの地域に集中しているか読み取りましょう。
- 3と9から、当時の大和政権の勢力がどこまでおよんでいたと考えられるか、グループで話し合ってみましょう。

▲ p.38 みんなでチャレンジ「古墳の分布から考えよう」

みんなでチャレンジ

日本が戦争に突入した背景を考えよう

- p.224~229の出来事から、戦争につながったと考えられるものを挙げましょう。
- (1)を基に、日本が戦争をした理由について、グループで話し合ってみましょう。
- なぜ第一次世界大戦の教訓が生かされなかったのか、グループで話し合ってみましょう。

▲ p.229 みんなでチャレンジ「日本が戦争に突入した背景を考えよう」

歴史の学習に必要な技能を確実に定着させる

「スキル・アップ」

計21か所

歴史の学習に欠かせない技能を身に付けるコーナーです。全てのスキル・アップで、QRコンテンツ「なるほど!スキル・アップ」(動画)を用意しています。動画の視聴で、よりスムーズに技能を身に付けられます。

スキル・アップ 20 風刺画を読み解こう

風刺画は、えがく人の主張を伝えるために、人や国、出来事などをこつこつと描きこんでいくことで、当時の人々の考え方や受け止め方を知ることができます。読み取るには、何が風刺の対象となっているかをつかんだうえで、読み取られたりゆめられたりしている部分に着目しましょう。

5 パイを切り分ける列強 中国

1と6の風刺画はどのようなことを風刺しているか、それぞれ「人物」「象」「パイ」が表すものに着目して読み取りましょう。

▼ p.187 スキル・アップ20 風刺画を読み解こう

QRコードから解説動画へリンク!



紙面と対応した内容の動画でより気軽に学べる! 詳しくは本書 p.21

リニューアル

学びのさらなる興味関心に応える

「もっと知りたい!」

本文の学習内容を、より深めたり、より広げたり、異なる視点でとらえたりしたコラムのコーナーです。多様な興味関心に応えられるように、ラインアップを充実させました。

もっと知りたい! 世界を大きく変えてきた感染症

感染症は歴史の中で社会にどのような影響を与えてきたのか、見ましょう。

● コレラ・スペイン風邪、の大流行

発展、インドの風土病だったコレラは、19世紀における世界的な流行をみせました。日本においても、1858年に長崎に上陸したアメリカ軍艦によってもたらされたコレラが大流行しました。しかし、当時有効な治療法がなく、健康な人々への被害を助けたために、筆を「病院内」に染める方法がありました。

● 結核の脅威

コレラやスペイン風邪など急性感染症が落ちると、かわって社会に大きく影響を及ぼすようになったのが慢性感染症である結核です。結核は、労働などと呼ばれる生活には存在していましたが、それが大きな社会問題となったのは近代になってからです。人から人へ空気感染する結核は、必然的に多くの人が密着する場所へ広がります。福澤諭吉や西園寺公経の最終病である結核(結核が原因で亡くなった)は、結核が広まりやすい環境にあったのです。

● 1944(昭和19)年、抗生物質のストレプトマイシンが発見されるまで、結核治療のための根本的な方法はなく、患者の隔離と栄養管理が手立てがありました。戦後、日本でも結核が減少しましたが、結核は依然として世界に多くの患者がいます。

● 本文に掲載する感染症のその後の歴史や、過去に流行したほかの感染症についても調べてみましょう。

▲ p.197 もっと知りたい! 「世界を大きく変えてきた感染症」

今と向き合い これからのを考える教科書



東京書籍が大切にしている「5つのテーマ」

「新編 新しい社会」は、現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度を育成するために、地理・歴史・公民の分野の枠をこえて貫く「5つのテーマ」を大切にしています。

▶ 本書p.34「現代的な諸課題と教材の対照表」もご覧ください。

▼ p.2~3

環境 エネルギー
足尾銅山鉱毒事件
明治時代になって産出量が飛躍的に増えた足尾銅山は、渡良瀬川の水質汚染や被害、洪水を引き起こし、1890年には社会問題になりました。衆議院議員の田中正造らが銅山の操業停止を求める運動を進め、政府は操業停止と治水対策を行いました。

防災 安全
江戸の防災
住宅の密集する江戸では火事が多く、1657(明暦3)年の明暦の大火では10万人の死者が出ました。そこで幕府は、火の燃え広がるのを防ぐために、防火地帯を定め、避難場所を指定し、防火地帯の整備を行いました。

情報 技術
メディアの発達で日本を変えた
新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、インターネット、スマートフォンなど、メディアの発達によって日本は大きく変わりました。メディアは、人々の生活を豊かにし、社会の発展に貢献しています。

伝統 文化
アイヌ文化とその継承
アイヌ文化は、北海道に古くから存在する文化です。アイヌ文化の継承は、アイヌ民族の生活様式や伝統芸能、言語などを保護し、後世に伝えることです。

歴史に学ぶ
持続可能な社会の実現に向けて
歴史を学ぶことで、持続可能な社会の実現に向けて学ぶことができます。歴史から学ぶべき教訓は、持続可能な社会の実現には、環境、経済、社会のバランスが重要です。

▲ p.193

人権 平和
ひめゆり学徒隊
日米開戦が佳境をきこんで地上戦をくり広げた沖縄戦では、15~19歳の女学生が戦場に動員され、陸軍病院などで看護業務に当たりました。沖縄戦で犠牲になったひめゆり学徒隊の18名と作られたのが、ひめゆり学徒隊慰霊碑です。

▲ p.237

伝統 文化
メディアの発達で日本を変えた
新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、インターネット、スマートフォンなど、メディアの発達によって日本は大きく変わりました。メディアは、人々の生活を豊かにし、社会の発展に貢献しています。

▲ p.196

▲ p.120~121

分野や教科の垣根をこえて「これからの社会のあるべき姿」を考える

社会科の3分野や他教科でも扱う学習内容には、分野関連と教科関連を示す⑤を示しました。また、小学校社会科で学習した内容にも⑤小学校を示し、小学校との関連を図っています。

他分野や他教科の関連ページの教科書紙面がQRコードからアクセスできます!

▼ 歴史p.176~177「領土をめぐる問題の背景」

領土をめぐる問題の背景
日本の領土は、歴史的に北方領土、竹島、尖閣諸島など、領土をめぐる問題を抱えています。領土をめぐる問題は、国際法に基づいて解決する必要があります。

北方領土・竹島と尖閣諸島
北方領土、竹島、尖閣諸島は、日本の領土であることが国際的に認められています。領土をめぐる問題は、国際法に基づいて解決する必要があります。

領土をめぐる問題の現状
領土をめぐる問題は、国際法に基づいて解決する必要があります。領土をめぐる問題は、国際法に基づいて解決する必要があります。



▲ 地理「北方領土・竹島と尖閣諸島」



▲ 公民「領土をめぐる問題の現状」

これからの社会をともに考える

コラム「未来にアクセス」

持続可能な社会の実現に向けて、各地で見られるさまざまな取り組みから考えるきっかけとなるコラム「未来にアクセス」を新設しました。

未来にアクセス 女性の政治参加を求めて

欧米諸国では、19世紀後半に男性の選挙権が拡大しましたが(p.150)、女性の選挙権については、国政ではほとんどの国で認められていませんでした。20世紀に入ると、各国で女性の国政での選挙権を求める運動が盛んになりました。イギリスでは、言論だけにとどまらず、デモを行ったり暴力的な手段に訴えたりする女性もいました。第一次世界大戦後、女性が総力戦に大きく貢献したことを受けて、イギリスをふくめた多くの国で、女性の国政での選挙権が認められるようになりました。その一方で、各国の国会議員や政府に選ばれる女性の比率は、21世紀に入っても低いままになっています。



5 逮捕される女性活動家(イギリス 1914年)

国	年
ニュージーランド	1893年
オーストラリア	1902年
フィンランド	1906年(選挙実施は1907年)
ソ連(ロシア)	1917年
ドイツ	1918年(選挙実施は1919年)
イギリス	1918年
アメリカ	1920年
フランス	1944年
イタリア	1945年(選挙実施は1946年)
日本	1945年(選挙実施は1946年)
中国(中華民国)	1947年

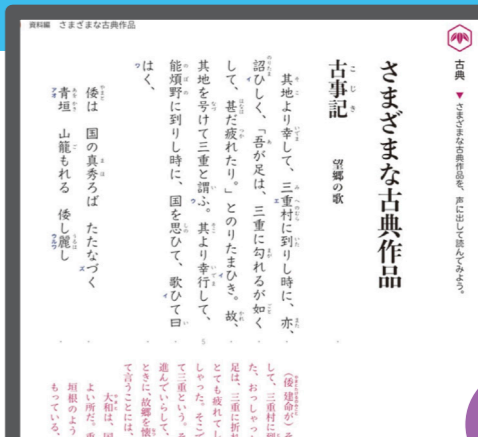
6 国政で女性の選挙権が認められた時期

▲ p.209 未来にアクセス「女性の政治参加を求めて」

他教科との関連

QRコードからアクセスできる他教科の紙面

歴史教科書	教科・分野	関連する学習内容
p.16	技術	情報モラル
p.29	書写	文字の移り変わり
p.51	国語	「古事記」「万葉集」
p.211	英語	ガンディー
p.217	国語	芥川龍之介「トロロコ」
p.231	道徳	六千人の命のピザ
p.268	保健体育	自然災害による傷病の防止



▲ 国語1年「古事記」

国語

誰一人取り残されない学びのために

資料掲載部分に背景色を入れて 本文部分との区別を明確に

資料の掲載部分に薄い色を付けることで、本文との区別を視覚的に分かりやすくしました。



1 桜田門外の変 (1860年) (運田市五郎筆 桜田門外之変図 茨城県立図書館蔵) 3月3日の節句の日、井伊直弼は江戸城に向かう途中で暗殺されました。その日は雪が降っていて、不意をつかれた彦根藩士たちは、十分に防戦できませんでした。この絵は、元水戸藩士の一人が後にえがいたものです。

2 井伊直弼 (1815~60)
日米修好通商条約を結ぶ
彦根(滋賀県)藩主。井伊家は譜代大名の筆頭で、直弼のほかにも、大老を多く出しました。直弼は、茶の湯を愛好する文化人でもありました。(滋賀県 清涼寺蔵)



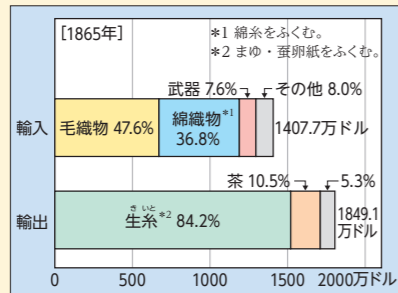
3 ゆれる日本、ゆれる幕府 開国後の 政治と経済

学習課題 開国によって、日本の社会はどのような影響を受けたのでしょうか。



3 吉田松陰 (1830~59) 幕末から明治時代に 活躍する人物を育てる

長州藩の下級武士出身で、私塾の松下村塾(p.135)で人材を育てました。幕府の対外政策に反対し、老中の暗殺を計画したことで、安政の大獄によって処刑されました。(山口県文書館蔵)



4 幕末の貿易 (梅村又次ほか編「日本経済史3 開港と維新」)

幕府への批判の高まり 幕府が朝廷の許可を待たずに通商条約を結んだことから、天皇を尊ぶ尊王論と、外国の勢力を排除しようとする攘夷論とが結び付き、幕府の政策を批判する尊王攘夷運動が盛んになりました。

同じころ、将軍のあとつぎをめぐる、徳川慶福(後の第14代将軍家茂)を支持する譜代大名たちと、徳川(一橋)慶喜を支持する雄藩の大名たちとが対立していました。井伊直弼は、慶福をあとつぎに決め、幕府の政策を批判して政治への発言力を強めようとする雄藩をおさえ、幕府の権威を立て直そうとしました。そして、雄藩の大名や公家、その家臣などを厳しく処罰しました(安政の大獄)。しかし1860年、直弼は、弾圧に反発する元水戸藩士たちによって、暗殺されました(桜田門外の変)。

大老を殺された幕府の権威は大きく損なわれました。幕府は、朝廷との結び付きを強めることで権威を取りもどそうとし(公武合体策)、天皇の妹を第4代将軍の夫人にむかえました。また、薩摩藩(鹿児島)と朝廷との結び付きを強めることで、幕府の権威を取りもどそうとしました。

QRコードを 定位置に掲載!

学習課題やタイトルの隣にQRコードを掲載。定位置に置くことで、迷わずにいつでもデジタルコンテンツを活用できます。

▶詳しくは、本書p.20~21をご覧ください。

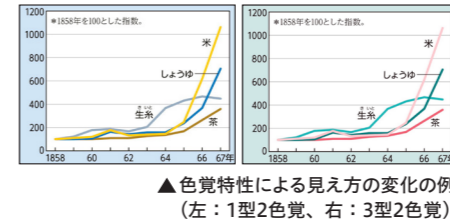
重量負担への配慮

QRコンテンツへの移行や学習内容の見直しなどによって、教科書の総ページ数を8ページ削減し、約2.4%の総重量の軽量化を実現しました。

一人一人にとって使いやすく学びやすい教科書であることを、東京書籍は大切にしています。
多様性に配慮し、誰一人取り残されない学びのために、あらゆる工夫をしています。

カラーユニバーサルデザインに全対応

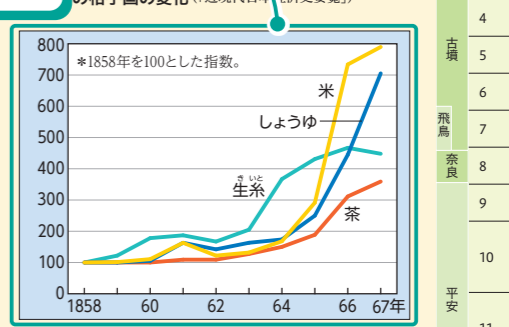
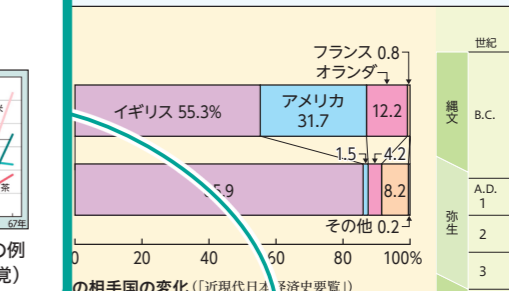
- 専門家の助言をもとに色覚特性の観点から紙面や図版を見直し、カラーユニバーサルデザインに全面的に対応しました。
- グラフや地図は、色覚特性のある生徒でも見分けられる色の組み合わせを採用しました。



▲色覚特性による見え方の変化の例 (左:1型2色覚、右:3型2色覚)



5 開国後の状況を示した浮世絵 (歌川芳虎筆 子供遊覧あけくらべ 東京都早稲田大学図書館蔵)



7 開国後の物価の変化

開港の 経済的影響

開国して貿易が始まると、外国からは毛織物・綿織物・武器などが輸入され、日本からは生糸・茶などが輸出されました。最大の貿易港は横浜(神奈川県)で、相手国はイギリスが中心でした。

貿易は国内の産業に大きな影響をあたえました。主要な輸出品だった生糸は、横浜に近い東日本を中心に生産が盛んになりました。一方、イギリスから安くて質の良い綿織物や綿糸が輸入されたため、国内の生産地は打撃を受けました。

貿易は、人々の生活にも影響をおよぼしました。開国当初、外国との金銀の交換比率のちがいがから、金貨(小判)が大量に国外に持ち出されました。幕府は、金の流出を防ぐために小判の質を落とすため、物価が急速に上昇しました。また、輸出が自由に行われたため、国内で品不足や買いしめが起り、米や菜種油など、生活に必要な品物までもがつかれて値上がりし、人々の生活は苦しくなりました。

幕府は物価の上昇をおさえるため、生糸などの流通を規制して、自由な貿易を制限しようとしたましたが、外国や、輸出品をあつかう商人などの反対により、失敗しました。生活に行きづまった民衆は、幕府への不満を高めていきました。

開国によって日本の(1)政治、(2)経済はどのように変化したか、それぞれ説明しましょう。

▲ p.160~161

学習に集中できる フラットデザイン

不要な陰影や立体感のあるデザインをなくし、シンプルなデザインにしました。

全ての文字を 読みやすく

教科書の全ての文字に、字形を判別しやすく、読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を採用しました。

学習者用デジタル教科書では、文字の色や大きさ、行間などを読みやすいよう調整したり、写真や図版などを拡大したりすることができます。また、本文を読み上げたり、総ルビ・分ち書きで表示したりするなど、特別支援教育に対応しています。

▶本書p.29もご覧ください。

大きく見直し、サポートを充実!

教師用指導書のご案内

指導編(朱書)を新規発行し、サポートを大幅に充実させます。経験の浅い先生も安心してご指導いただけます。

指導編(朱書) **NEW**

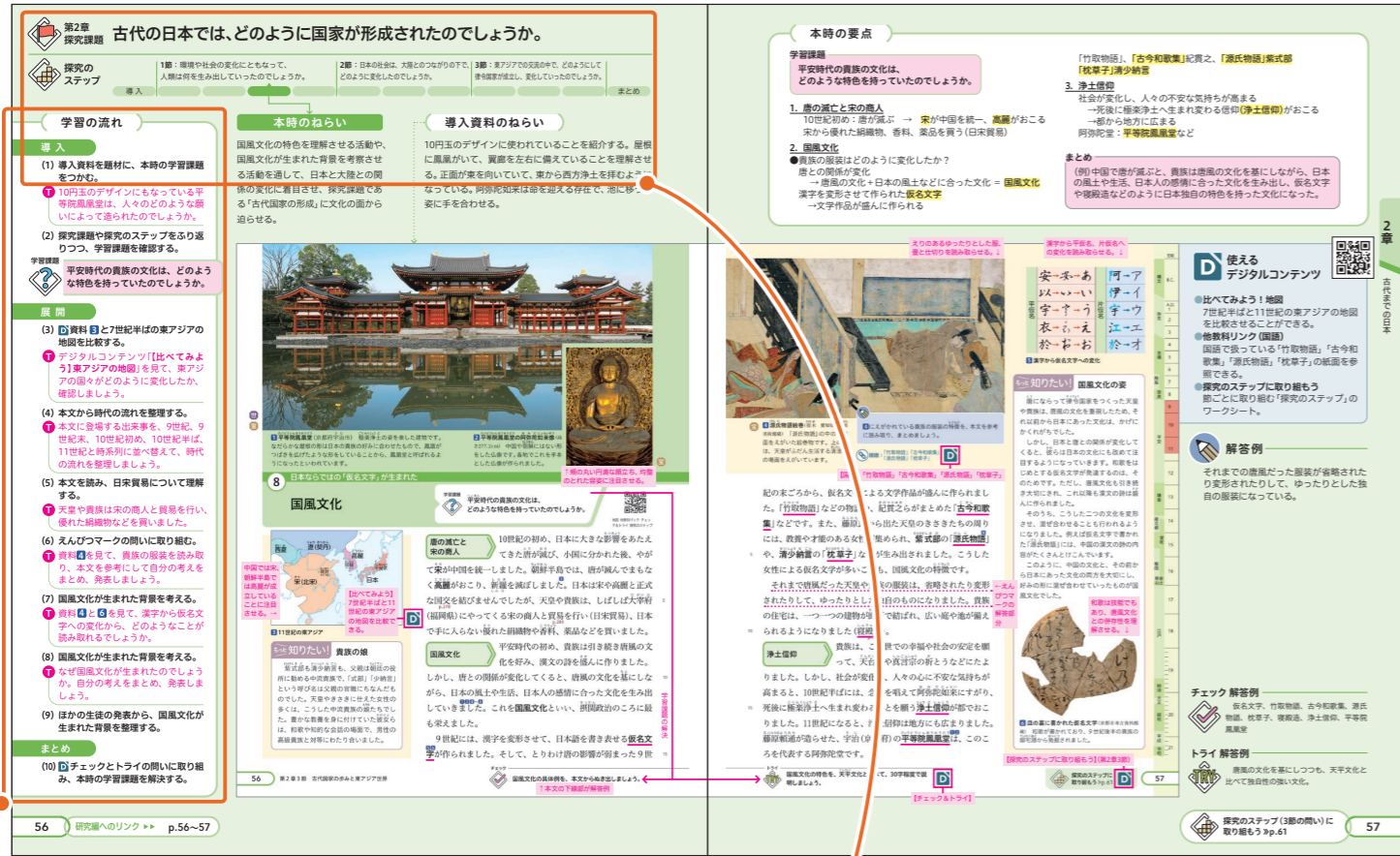
指導編(朱書)クラウド配信版 **NEW**

研究編

- 教科書の展開に沿って、学習の流れや本時の要点、QRコンテンツの活用のポイントなどが分かります。
- 教科書と同じ表紙・体裁で、授業中にも活用できます。
- 端末で利用できるクラウド配信版を用意いたします。校内フリーライセンスです。

- 教科書掲載資料の授業での活用方法や詳しい解説が分かります。
- 単元ごとの問いの構造図を掲載します。

▼ 教師用指導書(朱書)の紙面イメージ



学習の流れ

生徒が主体となる学習活動に沿って、教師の発問例を示しています。

導入

- 導入資料を題材に、本時の学習課題をつかむ。
- 10円玉のデザインにもなっている平等院鳳凰堂は、人々のどのような願いによって造られたのでしょうか。
- 探究課題や探究のステップをふり返りつつ、学習課題を確認する。

展開

- 資料③と7世紀半ばの東アジアの地図を比較する。
- デジタルコンテンツ「[比べてみよう]東アジアの地図」を見て、東アジアの国々がどのように変化したか、確認しましょう。
- 本文から時代の流れを整理する。
- 本文に登場する出来事を、9世紀、9世紀末、10世紀初め、10世紀半ば、

探究課題・本時のねらい・導入資料のねらい

単元を貫く問いを常に意識できるよう、探究課題を示しています。また、1時間ごとの目標を示す「本時のねらい」と、「導入資料のねらい」を示しています。

第2章 探究課題 古代の日本では、どのように国家が形成されたのでしょうか。

探究のステップ

- 1期：環境や社会の変化にもよって、人類は何を生み出したのでしょうか。
- 2期：日本の社会は、大勢のつながりの下で、どのように変化したのでしょうか。
- 3期：東アジアの交通の中で、どのようにして律令国家が成立し、変化したのでしょうか。

学習の流れ

導入

- 導入資料を題材に、本時の学習課題をつかむ。
- 10円玉のデザインにもなっている平等院鳳凰堂は、人々のどのような願いによって造られたのでしょうか。

本時のねらい

国風文化の特色を理解させる活動や、国風文化が生まれた背景を考察させる活動を通して、日本と大陸との関係の変化に着目させ、探究課題で問われる問いを解決する。

導入資料のねらい

10円玉のデザインに使われていることを紹介する。屋根に鳳凰がいて、翼を左右に開いていることを理解させる。正面が東を向いていて、東から西方浄土を拜むようになっている。阿彌陀如来は命を迎える存在で、池に移った

教師用指導書ラインアップ(予定)

- 指導編(朱書)
- 指導編(朱書)クラウド配信版
- 研究編
- 指導書コンテンツライブラリー
- 指導者用デジタル教科書(教材)

※本ページで紹介している製品は企画中のため、内容・仕様が変更になる場合があります。

指導書コンテンツライブラリー

これまで教師用指導書付属DVD-ROMで提供していたコンテンツをウェブサイトで配信いたします。

〈配信予定コンテンツ〉

- 評価問題
- 年間指導計画案
- 「本時の要点」テキストデータ
- ワークシート
- 教科書本文テキスト
- 教科書図版集
- 総ルビ・分かち書きの教科書紙面
- 白地図データ
- 指導書付属「My Globe」(デジタル地球儀)

そのほか、Google Workspace for Education や Microsoft Teams で利用できるコンテンツを配信予定です。先生方の授業をサポートできるよう、コンテンツは随時更新していきます。

※Google、Google Workspace for Education は、Google LLC の商標です。
※Microsoft、Microsoft Teams は、マイクロソフトグループ企業の商標です。



▲ 総ルビ・分かち書きの教科書紙面(令和3年度 中学校「新しい社会 歴史」)

指導者用デジタル教科書(教材)

教師用指導書同梱購入可能

電子黒板を使用した指導に最適な掲示型教材です。写真やグラフなど、教科書の「見せたいところ」をクリックするだけで提示でき、教科書のQRコンテンツなどにもリンクできます。

〈主な搭載機能・コンテンツ〉

- マスク表示
生徒から引き出ししたい教科書の内容(既定)に、マスクを表示することができます。
- MY教科書エディタ
教科書のテキスト、写真、図版などを自由に取りこんでレイアウトできるほか、テキストのアレンジやお持ちの写真データを貼り付けて、オリジナルの教材を作ることができます。
- 指導者用オリジナルの図版コンテンツや動画コンテンツ
- 教科書のQRコンテンツ



▲ 指導者用デジタル教科書(教材)の画面イメージ

学習者用デジタル教科書

1 複数の教科書を一括管理

東京書籍をはじめ複数の発行者などが採用しているビューア「Lentrance Reader」を用いています。さまざまな教科書を一括管理でき、教科横断的な学習に便利です。

2 学習を支える便利な機能

教科書に、ペンツールで自分の考えを書き込んだり、ウェブ上の参考資料へのリンクを貼り付けたりすることができます。また、教科書のQRコードをクリックして連携するコンテンツを利用することができます。

3 特別支援教育への対応

文字の色や大きさ、行間などを読みやすいよう調整したり、写真や図版などを拡大したりすることができます。また、本文を読み上げたり、総ルビ・分かち書き紙面に切り替えることができるので、生徒一人一人が自分の読みやすい教科書にカスタマイズできます。

※Lentranceは、日本国、米国、及びその他の国における株式会社Lentranceの登録商標または商標です。

教育基本法との対照表

各種資料をこちらからダウンロードできます。



教育基本法 第2条	『新編 新しい社会 歴史』の内容の特色	教科書の該当箇所
第1号： 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	● 学習の導入部に、生徒の興味・関心を引き出す大きな「導入資料」を設け、主体的な学びを促すとともに、真理を求める態度を養えるようにしました。 →本書 p.8-11 参照	全体 (特にp.22-23、64-65など)
	● 単元は問いによって構造化されており、単元を貫く課題（探究課題）、各見開きの「学習課題」と「チェック＆トライ」の解決を通して、課題解決的な学習ができるように構成されています。 →本書 p.6-7 参照	全体
	● 本文は丁寧で、事象の背景や因果関係が分かりやすく、歴史的な事象をとらえて幅広い知識と教養が身に付けられるようにしました。	全体
	● 「歴史的な見方・考え方」を働かせた深い学びが実現できるよう、第1章1節で「歴史をとらえる見方・考え方」を設けるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」マークを付して、働かせる場所と視点を明示することで、学習を深められるようにしました。 →本書 p.12-13、22 参照	p.10-15、26、30 など
第2号： 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うこと。	● 「スキル・アップ」コーナーを設け、歴史地図・文献資料・系図・グラフ・風刺画といった資料の読み取りや、調査や分析の手法などの技能を生徒自らが身に付けることで、社会的な事象を読み解く能力を伸ばし、自主と自律の精神を養えるようにしました。 →本書 p.23 参照	p.29、37、40、43、131、187 など
	● 人物コラムや「もっと知りたい!」で、国際的に活躍し評価される日本人を取り上げ、勤労を重んじる態度を養えるようにしました。	p.208、231 など
	● 色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や、色以外の情報で見分けやすいデザインを全面的に採用したほか、使用する全ての文字を誰もが読みやすいように改善された「ユニバーサルデザインフォント」とし、不要な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を取り入れたことで、様々な特性を持つ生徒の価値を尊重するとともに、その能力を伸ばせるようにしました。 →本書 p.26-27 参照	全体
第3号： 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	● 巻頭で、持続可能な社会の実現に向けて歴史から学ぶことの重要性を取り上げるとともに、第7章3節「新たな時代の日本と世界」では、歴史の学習をふまえて自分なりの考えをまとめる活動を充実させることで、より良い社会の形成に主体的に参画する資質や能力を養えるようにしました。	p.2-3、264-265、274-275 など
	● 第1章2節「身近な地域の歴史」では、歴史を調べる際の手法を丁寧に説明し、地域社会に積極的に関わり、主体的に社会の形成に参画する意識と態度を養えるようにしました。	p.16-19
	● 「みんなでチャレンジ」コーナーを随所に設け、活動を通して他者の考えを尊重しながらグループで対話したり、協力しながら活動する場面を示すことで、自他の敬愛と協力を重んじる態度を育成できるようにしました。 →本書 p.23 参照	p.9、10、12、14、23、26 など多数
第4号： 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	● 全章を貫く5つのテーマの1つとして、「環境・エネルギー」に関する題材を積極的に扱うとともに、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）を取り上げ、環境保全に寄与する態度を高められるようにしました。	p.2-3、193、257、264、266-267 など
	● 歴史上の公害問題や地球環境問題を多く取り上げ、環境保全への意識を高めるとともに、生命尊び自然を大切にすることを養えるようにしました。	p.155、193、257、264 など

教育基本法 第2条	『新編 新しい社会 歴史』の内容の特色	教科書の該当箇所
第5号： 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	● 全章を貫く5つのテーマの1つとして、「伝統・文化」に関する題材を積極的に取り上げ、我が国の伝統文化への理解を深めるとともに、他国の文化を尊重する意識や態度を養えるようにしました。	p.2-3、58-59、86-87、109、120-121 など
	● 文化史に十分な紙面を割くとともに、特設ページ「もっと知りたい!」では、現代に受け継がれる神話や琉球文化、アイヌ文化を取り上げ、伝統や文化への理解を深められるようにしました。	p.38、43、50-51、56-57、58-59、74-75、86-87、120-121 など多数
	● 世界史の学習内容として、古代文明や三大宗教、東アジアにおける朝貢、イスラーム世界やモンゴル帝国の拡大などを扱い、我が国の歴史を国際的な視点からとらえられるようにするとともに、他国の文化を尊重する意識や態度を高められるようにしました。	p.26-33、76-79、84-85 など
	● 第1章2節「身近な地域の歴史」では、歴史調査の手法とともに、身近な地域の国宝、重要文化財や主な史跡を数多く紹介することで、我が国の伝統や文化を尊重し、郷土を愛する心を養えるようにしました。	p.20-21
	● 第5章3節6項「領土をめぐる問題の背景」では、我が国が抱える領土をめぐる問題について、領有の歴史的な経緯を丁寧に解説することで、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識できるようにしました。	p.176-177
● 第7章「現代の日本と私たち」では、戦後から今に至る日本と世界の動きについて理解を深めることで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。	p.244-275	

検討の観点と内容の特色

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 歴史』の特色	該当箇所
内容の程度・分量	指導計画作成上の配慮	● 本文は見開き2ページで1単位時間を原則にしています。 ● 目次・索引、巻末資料などを除いたページ数は276ページで、標準授業時数135時間のうち、5単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能です。 ● 授業時数は、1章に6単位時間、2章に19単位時間、3章に16単位時間、4章に22単位時間、5章に27単位時間、6章に19単位時間、7章に14単位時間を配当しており、適切な配当といえます。 →本誌 p.35 「単元構成と配当授業時数」参照	全体
	適正な内容・分量	● 内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、文章も敬体（ですます体）を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述しました。 ● ふりがなは、教育漢字外の漢字に、見開き2ページごとに付すことを原則に、固有名詞などの必要な箇所にも適宜付しています。また、本文だけでなく、資料ごとに付すことで、ほかの箇所でも読み方を確認する必要がないようにしました。	全体
教育基本法・学習指導要領への対応	基礎的・基本的な知識・概念や技能を習得する。	● 見開き1単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→1時間を貫く問いである『学習課題』→丁寧に分かりやすい『本文』→1時間の学習課題を解決する『チェック＆トライ』」の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしました。 →本誌 p.12-13 参照	全体
		● 歴史学習の基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を設け、学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました。 →本誌 p.23 参照	巻頭3、p.1、11、13、16-19 など
	● 本文等の抽象的な用語を解説する巻末の「用語解説」を設け、基礎・基本を確実に理解できるようにしました。また、QRコンテンツでは、社会科で学習する用語が確認できる「社会科用語マスター」を用意しています。	p.276-281	
	● 第1章2節で「歴史的な見方・考え方」を明示してとらえさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしました。	p.10-15、26、30、36、39、43、48 など	
「歴史的な見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育む。	● 各見開きには、短時間の説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック＆トライ」を設け、思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。	p.24-25 など	
	● 各章の終結部には「ウェビング」「ステップチャート」といった多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしました。 →本書 p.16-17 参照	p.60-62、94-96、140-142 など	
	● 小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。 →本書 p.23 参照	p.22、26、38、42、62 など	

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 歴史』の特色	該当箇所
教育基本法・学習指導要領への対応	我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考え、国土、歴史に対する理解と愛情を深めるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 政治史や経済史に偏重することなく、文化史にも十分な紙面を割くとともに、「もっと知りたい!」では、神話やアイヌ文化など、現代に受け継がれている文化を扱うことで、我が国の伝統や文化に対する理解を深め、伝統や文化の継承者としての資質や能力を養えるようにしました。 ● 第1章2節には、我が国が世界に誇れる国宝や重要文化財などを取り上げ、通史学習でも該当の文化財や世界遺産、世界の記憶、無形文化遺産にマークを付すことで、文化財を通して、我が国の歴史に対する理解と愛情を育てられるようにしました。 ● 時代や出来事のポイントとなった人物を紹介した人物コラムを随所に設け、人物に目を向けた歴史学習を行えるようにしました。特に、近代以降の人物には、出身県を示すことで、郷土にゆかりのある人物を意識できるようにしました。 	p.50-51、58-59、74-75、86-87、110-111、120-121 など p.20-21 など
	我が国の領域を正しく理解できるように配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国がかかえる領土をめぐる問題について、領有の歴史的な経緯を取り上げることで、領土をめぐる問題の背景を正しく理解し、解決に向けての意識が高められるようにしました。 	p.174-175、176-177
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 巻頭では「歴史に学ぶ 持続可能な社会の実現に向けて」を設けて、これからの未来を考えるために歴史を学ぶ必要があることを意識できるようにしました。 ● 「地域の歴史を調べよう」では時代や地域の異なる5事例を紹介し、「身近な地域の歴史」を学ぶことを通して、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるようにしました。 ● 「未来にアクセス」では、歴史的な経緯を踏まえながら現代社会においても継続的な課題である社会事象を意識できるようにしました。→本書 p.22 参照 	p.2-3 p.40-41、138-139、164-165 など p.209、247、253、263、265 など
	教材の配列は、学習しやすいように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各時代の学習を、「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し、学習の流れをとらえやすくしました。→本書 p.6-7 参照 	(古代の例) 導入部：p.22-23 → 展開部：p.24-25 → 終結部：p.60-63
構成・配列	導入やまとめ、問題提起に必要な教材、学習の整理のための配慮などは、十分になされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 第2～7章の学習は、①単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入の活動」→②1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→③「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくしました。また、節ごとに設けた「探究のステップ」に取り組むことで、「探究課題」をスムーズに解決できるようにしました。 ● 各見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し、学習にスムーズには入れるようにしました。 	(中世の例) ①導入の活動：p.64-65 → ②問いの追究：p.66-67 → ③まとめの活動：p.94-97
	写真・図表その他の資料が適切に用意され、学習効果を高めるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようにしました。 ● 歴史研究の成果をふまえ、復元写真や想像図など、歴史が実感できる資料を豊富に掲載しました。 ● 小さな資料は実物大で掲載し、大きな資料にはサイズを付すことで、生徒が具体的なイメージを持って学習できるようにしました。 	p.24、35、38 など 全体 実物大資料：p.34、37、45、47、88、125、161、169
	小学校や高等学校との接続・系統性があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容用語や写真でふり返るページを設けるとともに、QR コンテンツでは既習事項をふり返るなど単元学習をイメージしやすいコンテンツを用意して、小・中の学習を円滑に接続できるようにしました。 ● 巻頭に絵画資料や資料写真から時代をとらえる「資料から発見!」を設け、また各章末に年表や地図、グラフ、絵画資料などを読み取るコーナーを設けて、高等学校の必修科目「歴史総合」につながる資料を読解する力を養えるようにしました。 	p.22-23、64-65、98-99、144-145 など 巻頭1-p.1、63、97、143 など
	他分野との関連に配慮しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 3年間の社会科学学習を貫く5つのテーマ(「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」)について、3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、分野関連を示すリンクマークを付すことで、多面的・多角的な学習ができます。→本書 p.24-25 参照 	p.120-121、196、266-267、268-269 など
学習効果を高めるQRコンテンツが用意されているか。	他教科との関連に配慮しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 国語、道徳など他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマークを付し、教科を横断した学習の確認ができます。→本書 p.25 参照 	p.16、29、51、57、75、211 など
	導入→本文→まとめという学習の流れの中で活用できるように、日々の授業や家庭学習で使えるコンテンツを用意したか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入→本文→まとめという学習の流れの中で活用できるように、日々の授業や家庭学習で使えるコンテンツを用意しました。→本書 p.18-19 参照 	全体
	導入ページでは、小学校の学習をふり返る動画を用意し、小学校の学習内容を思い出ししながら、中学校の学習をスタートできるようにしました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入ページでは、小学校の学習をふり返る動画を用意し、小学校の学習内容を思い出ししながら、中学校の学習をスタートできるようにしました。 	p.22-23、64-65、98-99 など
	展開ページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまずきを補うシミュレーションなどのコンテンツを用意しています。また、コンテンツを活用しながら学習を進められるよう、QRコードを学習課題の隣に置きました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 展開ページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまずきを補うシミュレーションなどのコンテンツを用意しています。また、コンテンツを活用しながら学習を進められるよう、QRコードを学習課題の隣に置きました。 	p.24 など
まとめページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容をまとめるワークシートを用意しました。	<ul style="list-style-type: none"> ● まとめページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容をまとめるワークシートを用意しました。 	p.60-62、94-96 など	

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 歴史』の特色	該当箇所
今日的な課題への対応	持続可能な開発目標(SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。 ● 第7章「現代の日本と私たち」では、「持続可能な開発目標(SDGs)」を取り上げ、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。 	p.2-3、274-275 p.265
	環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ● 公害問題や地球環境問題、日本のエネルギー政策などについて多様な教材を掲載し、話し合いなどの活動を通して、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。 	p.155、193、256-257、266-267 など
	人権・平和	<ul style="list-style-type: none"> ● 同和問題や、アイヌ民族、琉球王国、在日韓国・朝鮮人の歴史を、ページを割いて扱い、人権尊重・多文化共生の意識を高められるようにしました。 	p.86-87、93、118-119、120-121、218-219、247、265 など
	伝統・文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化史に十分な紙面を割き、我が国の伝統や文化を着実に理解できるようにしました。 ● 代表的な国宝・重要文化財や主な史跡を取り上げた特設ページを設けて、我が国の伝統や文化に対する関心を高められるようにしました。 	p.50-51、56-57、74-75 など p.20-21
		<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校の学習指導要領に示された42人の人物をもれなく取り上げるとともに、人物コラムを設け、人物を手がかりにした歴史学習ができるようにしました。近代以降の人物については出身県を示し、郷土の偉人を確認できます。 	p.69、70、80、83、170 など
	防災・安全	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史上の災害やそれを乗り越えてきた人々の姿、歴史上の防災対策を、本文ページや「もっと知りたい!」で取り上げ、防災・減災への意識や態度を養えるようにしました。 	p.130、197、217、264-265、268-269 など
	情報・技術	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国におけるメディアの発達とそれに伴う社会や文化の変容について、本文ページや「もっと知りたい!」で取り上げ、現在の情報環境の成り立ちを歴史的にとらえられるようにしました。 	p.170-171、196、216、258-259 など
	先生がたの働き方改革への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 1見開きあたり1時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。 ● 単元における「導入の活動」と「まとめの活動」に一体感をもたせ、単元構想が立てやすくなるようにしました。 ● 紙面上で、活用場面に「見方・考え方」を動かせる視点の例をわかりやすく提示しました。→本書 p.22 参照 	全体 p.22-23、60-62 など p.26、30、36、39、43、48 など
		インクルーシブ教育を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。 ● 資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。 ● 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。 ● 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。 ● 小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。 ● 別途発行予定の学習者用デジタル教科書では、文字の大きさ変更(リフロー表示)、本文の読み上げ(機械音声)、文字色・背景色・行間の変更や、ふりがな表示、分かち書き表示に対応し、全ての子どもの学習を支えます。→本書 p.28-29 参照
	令和の日本型教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙面に付したQRコードを機器で読み取ることで、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、豊富なコンテンツを利用することができるため、学校でも家庭でも学習者個人に合わせた学習を調整することができます。 ● 学習者用デジタル教科書では、画面に表示される紙面上のQRコードをクリックするだけの操作で、簡単にQRコンテンツにアクセスすることができます。→本書 p.20-21 参照 	全体
印刷・造本	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ● 視覚的効果が高い幅広の判型(AB判)を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっています。 	全体
	製本・印刷	<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ● 強力な接着剤を用いた製本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えられます。 	全体
	用紙・紙質	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。 ● 用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用し環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えするように工夫しています。 	全体

現代的な諸課題と教材の対照表

1 人権・平和：基本的人権や国際平和、共生社会にかかわる教材

章 節	ページ	項目	章 節	ページ	項目
-	p.2-3	持続可能な社会の実現に向けて	6	p.217	関東大震災
3	p.73	地頭を訴えた農民たち	6	p.218-219	「解放令」から水平社へ
2	p.93	河原者たちの優れた技術	3	p.223	ドイツの戦後
4	p.122-123	さまざまな身分と暮らし	3	p.229	斎藤隆夫の「反軍演説」
3	p.137	渋染一揆	4	p.231	「命のビザ」
5	p.185	エルトゥール号遭難事件	4	p.237	ひめゆり学徒隊
4	p.193	社会主義の動向と大逆事件	1	p.247	在日韓国・朝鮮人
4	p.195	全ての子どもに教育を	2	p.251	イスラエルの成立とパレスチナ問題
4	p.197	世界を大きく変えてきた感染症	7	p.253	原水爆禁止運動
6	p.209	女性の社会参加を求めて	2	p.263	女性の社会参画
1	p.211	ガンディーの非暴力・不服従運動	3	p.265	在日外国人の推移と共生の課題

2 伝統・文化：我が国や他国の伝統・文化、国土や歴史への理解にかかわる教材

章 節	ページ	項目	章 節	ページ	項目
-	巻頭 1-p.1	資料から発見！「時代」を伝える資料をじっくり見てみよう	3	p.84-85	東アジアとの交流
-	p.2-3	持続可能な社会の実現に向けて	2	p.86-87	東アジア世界の国々の交流と琉球文化
1	p.20-21	身近な地域の主な史跡・国宝・重要文化財	2	p.92-93	室町文化とその広がり
1	p.26-27	古代文明のおこりと発展	1	p.100-101	ヨーロッパ世界の変化
1	p.28-29	中国文明の発展	1	p.109	朝鮮人陶工と日本の陶磁器文化
1	p.30-31	ギリシャ・ローマの文明	4	p.110-111	桃山文化
1	p.32-33	宗教のおこりと三大宗教	2	p.118-119	琉球王国やアイヌ民族との関係
2	p.38	古墳時代の文化	2	p.120-121	アイヌ文化とその継承
3	p.43	飛鳥文化	3	p.128-129	幕府政治の安定と元禄文化
3	p.50-51	天平文化	3	p.134-135	新しい学問と化政文化
3	p.56-57	国風文化	5	p.194-195	近代文化の形成
3	p.58-59	現代に生きる神話	6	p.216-217	新しい文化と生活
3	p.74-75	鎌倉時代の文化と宗教	7	p.258-259	マスメディアと現代の文化
2	p.76-77	中世のユーラシア大陸			

3 環境・エネルギー：地球環境問題や資源エネルギー問題など、持続可能な社会にかかわる教材

章 節	ページ	項目	章 節	ページ	項目
-	p.2-3	持続可能な社会の実現に向けて	7	p.256-257	日本の高度経済成長
4	p.193	足尾銅山鉱毒事件	3	p.266-267	日本のエネルギーのこれまで

4 防災・安全：自然災害や復旧・復興などの防災・安全にかかわる教材

章 節	ページ	項目	章 節	ページ	項目
-	p.2-3	持続可能な社会の実現に向けて	6	p.217	関東大震災
4	p.130	江戸の防災	7	p.264-265	熊本地震、阪神・淡路大震災、東日本大震災
5	p.197	世界を大きく変えてきた感染症	3	p.268-269	震災の記憶を語りつぐ

5 情報・技術：情報化や技術の進歩が人間社会に与える影響にかかわる教材

章 節	ページ	項目	章 節	ページ	項目
-	p.2-3	持続可能な社会の実現に向けて	5	p.196	メディアの発展が日本を変えた
5	p.154-155	産業革命と資本主義	6	p.216	メディアの発展と文化の大衆化
3	p.170-171	富国強兵と文明開化	7	p.258-259	マスメディアと現代の文化
4	p.192-193	産業革命の進展	2	p.259	インターネットの発達

単元構成と配当授業時数

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	教科書ページ	配当時数	
巻頭	資料から発見！「時代」を伝える資料をじっくり見てみよう	A-(1)	巻頭 1-1		
	持続可能な社会の実現に向けて	A-(1)	2-3	1	
	もくじ		4-5		
	この教科書の使い方と学び方		6-7		
第1章	歴史へのとびら	A-(1)(2)	8-21	6	
1節	歴史をとらえる見方・考え方	A-(1)	8-15	4	
2節	身近な地域の歴史	A-(1)	16-21	2	
第2章	古代までの日本	B-(1)	22-63	19	
1節	世界の古代文明と宗教のおこり	B-(1)	24-33	5	
2節	日本列島の誕生と大陸との交流	B-(1)	34-39	3	
3節	●大陸への玄関口 福岡（地域の歴史を調べよう1）	A-(2)	40-41	(6)	
3節	古代国家の歩みと東アジア世界	B-(1)	42-59	8	
第3章	中世の日本	B-(2)	64-97	16	
1節	武士の政権の成立	B-(2)	66-75	5	
2節	ユーラシアの動きと武士の政治の展開	B-(2)	76-93	8	
第4章	近世の日本	B-(3)	98-143	22	
1節	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	B-(3)	100-111	7	
2節	江戸幕府の成立と対外政策の変化	B-(3)	112-123	5	
3節	産業の発達と幕府政治の推移	B-(3)	124-137	7	
3節	●藩の政治と産業 会津（地域の歴史を調べよう2）	A-(2)	138-139	(6)	
第5章	開国と近代日本の歩み	C-(1)	144-201	27	
1節	欧米における近代化の進展	C-(1)	146-155	5	
2節	欧米の進出と日本の開国	C-(1)	156-163	4	
3節	●幕末を生きた先人たち 福井（地域の歴史を調べよう3）	A-(2)	164-165	(6)	
3節	明治維新	C-(1)	166-181	9	
4節	●明治維新のまちづくり 新潟（地域の歴史を調べよう4）	A-(2)	182-183	(6)	
4節	日清・日露戦争と近代産業	C-(1)	184-197	6	
第6章	二度の世界大戦と日本	C-(1)	202-243	19	
1節	第一次世界大戦と日本	C-(1)	204-211	4	
2節	大正デモクラシーの時代	C-(1)	212-219	3	
3節	世界恐慌と日本の中国侵略	C-(1)	220-229	5	
4節	第二次世界大戦と日本	C-(1)	230-237	4	
4節	●被爆建物の保存と継承 広島（地域の歴史を調べよう5）	A-(2)	238-239	(6)	
第7章	現代の日本と私たち	C-(2)	244-275	14	
1節	戦後日本の出発	C-(2)	246-249	2	
2節	冷戦と日本の発展	C-(2)	250-259	5	
3節	新たな時代の日本と世界	C-(2)	260-269	3	
3節	歴史のまとめ	C-(2)	274-275	1	
				予備時間	5
				合計	135

※予備時間は、生徒の自主的な学習活動の時間や評価などに充てる時間です。
 ※第2～7章の配当時数には、「導入の活動」(1時間)と「まとめの活動」(2時間)も含まれます。
 ※内容A-(2)の「身近な地域の歴史」は、第1章2節のほかに、「地域の歴史を調べよう」の6事例を参考にして6時間を配当することを想定しています。

東京書籍「新編 新しい社会」の仲間たち

